

# 心癒やす澄んだ音色

第1回なりた鈴虫祭



大事に育ててね



リンリンと鳴くスズムシたち

スズムシの飼育を通じ、その独特の「音色」を楽しんでもらおうと8月22日、「なりた鈴虫祭」が浅間公園（美郷台）で開催され、スズムシの無料配布が行われました。主催した「なりたすず虫愛好会」のスタッフからスズムシの入った虫かごを受け取った子どもたちは、興味津々といった様子で観察。辺りが暗くなるとともに小さな羽根が奏でる涼しい音色に、耳を澄ましていました。

## おもちゃ病院ボランティア養成講座

### 開院に向けてのノウハウを

「成田にもおもちゃ病院をつくろう」と、社会福祉協議会による「おもちゃ病院ボランティア養成講座」が9月1日・4日、保健福祉館で開催されました。おもちゃ病院とは、壊れたおもちゃを無料で直すボランティア団体で、その数は全国に1,000以上あります。参加者は、成田で開院予定のおもちゃ病院での活動を希望する30人。おもちゃの部品や配線の交換などの修理方法のほか、おもちゃ病院の開院のノウハウを熱心に学んでいました。



ドクター目指して修行中

## 中台小にフクロウ

## 学問の神に児童たちは…



大きなあくびがカワイイ

中台小学校にフクロウが飛来—写真は9月1日に撮影したもので、この珍客、近所の人の話によると8月下旬からいたとのこと。夜行性にもかかわらず、昼間から辺りをキョロキョロ。その愛くるしい姿に児童たちも釘付けです。それでもやはりワシやタカと同じ猛禽類、獲物に向かって音も立てずに羽ばたく姿には驚かされました。「まさかフクロウが学校に来ているなんて…」と

小長井博子校長先生も興奮気味。2学期初日の“学問の神”の訪問に学校中が笑顔に包まれました。



合図で、獲物目掛けて飛び立った…ように見えませんか

## 市統計グラフコンクール

## 市長賞に市原大雅さん

「市統計グラフコンクール」に市内小中高校生から62点の作品が寄せられ、特別賞4点・金賞26点が選ばれました。応募作品は県統計グラフコンクールに出品されます。



市長賞に輝いた市原さん

## 特別賞受賞者

市長賞	市原 大雅さん(中台小2年)
議長賞	高橋 美凧さん(加良部小3年)
教育長賞	山口 菜摘さん(成田小5年)
統計研究会長賞	鈴木 万莉菜さん(成田中1年)

## 成田西陵高校環境建設科

## 測量競技の部で全国へ



左から須藤佑太さん(2年)、橋本修平さん(2年)、高岡亮さん(2年)、飯塚大樹さん(2年)

「学校農業クラブ県大会」が7月28日、安房拓心高校を会場に行われ、測量競技の部に出場した成田西陵高校環境建設科が1位を獲得しました。この競技は4人1チームで六角形の区画の面積をアリダード・巻き尺・ポールを使って、制限時間内にいかに早く、正確に測量できるかを競うものです。出場したメンバーは「先生方の指導を忠実に守り、練習の成果が表現できたことと、チームワークがよかったことが結果につながりました」と話していました。チームは10月6日・7日に行われる日本学校農業クラブ全国大会に千葉県代表として出場し、上位入賞を目指します。

## ヤングスペースなりた・チャレンジギター

## 弦の和音に歌声を乗せて

ギターに親しみ、演奏しながら歌うことの楽しさを子どもたちに体感してもらおうと8月中の土曜日、国際文化会館で「ヤングスペースなりた・チャレンジギター」が行われました。初回は弦の弾き方もごちなかった子どもたちも、最終日には基本的なコードをおおむねマスター。ギターの演奏に合わせて、課題曲である「翼をください」を元気に歌っていました。



最終日、皆の前で練習の成果を披露